

令和7年中の火災・救急・救助件数について(速報値)

四日市市消防本部

令和7年1月1日～令和7年12月31日までの1年間に四日市市消防本部管内（四日市市、三重郡朝日町及び川越町）で発生した火災・救急・救助件数は次のとおりです。

- 火災発生件数 114件（昨年より +36件）
- 救急出動件数 17,595件（昨年より+247件）
- 救助出動件数 148件（昨年より -42件）

1 火災発生状況

(1) 火災発生概要

令和7年中の火災は114件で、前年の78件と比較して36件の増加となりました。

令和7年中の火災種別では、「その他」火災が52件（45.6%）で最も多くなっており、「その他」火災の内、「枯草」火災が29件で、前年の8件より21件の増加となりました。

次いで「建物」火災が49件（43.0%）で、「建物」火災の内、住宅（共同住宅等を含む）が27件で、前年の20件より7件増加となりました。

さらに、「車両」火災は10件（8.8%）、「林野」火災は3件（2.6%）発生し、「船舶」火災は発生していません。

過去5年間の火災発生件数

種 別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
建 物	37	42	36	45	49
車 両	12	10	8	7	10
船 舶	0	0	1	0	0
林 野	1	0	3	2	3
その他	24	27	36	24	52
計	74	79	84	78	114

※「その他」とは「枯草、ごみ集積場などの火災」等

## (2) 出火原因

出火原因は、「たき火」が19件で、第1位となっています。次いで「放火（疑い含む）」が13件、「たばこ」が9件となっています。

過去5年間の主な火災原因

年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
1位	放火 (疑い含む) 9件	たばこ 10件	たばこ 放火 (疑い含む) 15件	たばこ 9件	たき火 19件
2位	たき火 6件	こんろ 9件		こんろ 配線 ストーブ 6件	放火 (疑い含む) 13件
3位	たばこ こんろ ストーブ 5件	放火 (疑い含む) 8件	たき火 10件		たばこ 9件

## (3) 火災による死者

火災による死者は、1名発生し、前年より1名の減少となっています。

## (4) 火災による負傷者

火災による負傷者は、15名発生し、前年より9名の増加となっています。

## (5) 火災による損害

火災による損害は、火災件数が36件増加し、損害額も増加する見込みです。

過去5年間の損害額（千円）

年 別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
損害額	114,536	84,387	164,650	52,086	未確定



## 2 救急出動状況

令和7年中の出動件数は17,595件で、前年の17,348件と比較して247件の増加となりました。

事故種別では、「急病」が12,030件（68.4％）で最も多く、次いで「一般負傷」が2,631件（15.0％）、「転院搬送」が1,133件（6.4％）、「交通事故」が1,110件（6.3％）となっています。

過去5年間の救急出動件数

種 別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
急 病	9,701 (67.3)	11,755 (69.0)	12,040 (68.4)	11,865 (68.4)	12,030 (68.4)
交通事故	1,058 (7.3)	1,121 (6.6)	1,109 (6.3)	1,103 (6.4)	1,110 (6.3)
一般負傷	2,025 (14.1)	2,296 (13.5)	2,695 (15.3)	2,576 (14.8)	2,631 (15.0)
転院搬送	1,044 (7.2)	1,216 (7.1)	1,132 (6.4)	1,181 (6.8)	1,133 (6.4)
自損行為	113 (0.8)	142 (0.8)	122 (0.7)	126 (0.7)	135 (0.8)
労働災害	155 (1.1)	184 (1.1)	165 (0.9)	168 (1.0)	179 (1.0)
加 害	55 (0.4)	64 (0.4)	51 (0.3)	64 (0.4)	42 (0.2)
運動競技	99 (0.7)	107 (0.6)	137 (0.8)	128 (0.7)	128 (0.7)
その他	59 (1.1)	150 (0.9)	151 (0.9)	137 (0.8)	207 (1.2)
計	14,409	17,035	17,602	17,348	17,595

※（ ）内の数字はその年の出動件数に占める比率（小数点第2位を四捨五入）

※「その他」とは「火災」「水難」「医師搬送」「資器材搬送」等



### 3 救助出動状況

令和7年中の出動件数は148件で、前年と比較して42件の減少となりました。  
事故種別の内訳としては、「建物事故」が52件（35.1%）と最も多く、次いで「交通事故」が49件（33.1%）、「その他」が28件（18.9%）、「水難事故」が11件（7.4%）、「火災」が6件（4.1%）、「機械事故」が2件（1.4%）と続いています。

過去5年間の救助出動件数

種 別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
交通事故	54	48	38	67	49
建物事故	67	46	45	66	52
水難事故	9	9	6	8	11
火 災	4	6	5	8	6
機械事故	3	4	5	6	2
そ の 他	26	42	21	35	28
計	163	155	120	190	148

※「その他」とは、河川敷等への転落、車内への閉じ込め、ガス酸欠事故等

